

2017年3月30日

株式会社 電通

代表取締役副社長執行役員 中本 祥一

(東証第1部 証券コード: 4324)

## 電通、スリランカの有効広告グループ「Grant・グループ」の マジョリティー株式を取得し、同国に電通イージス・ネットワークの拠点を設立

株式会社電通（本社：東京都港区、社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、スリランカの有効老舗広告グループ「Grant Group」（本社：コロombo市、Chairperson & Managing Director：Neela Marikkar、以下「Grant・グループ」）のマジョリティー株式を取得することにつき、同グループ株主と合意しました。

今回の合意には、同グループ傘下の「Grant Advertising Group」（Grant・アドバタイジング・グループ）の株式85%と「Grant Agencies」（Grant・エージェンシーズ）の株式70%の取得、および今後完全子会社化するオプションを当社が有することが含まれます。

1958年に創立されたGrant・グループはスリランカで最も長い歴史を持ち、同市場では最大級の規模を誇るグループの1つとなっており、独立系では最大規模となっています。総勢150名の従業員が60社以上におよぶグローバルおよびローカルの有力企業向けにサービスを提供しています。

同社はGrant Advertising GroupとGrant Agenciesの2つのグループで成り立っており、傘下には広告（マスメディアやOOH）・クリエイティブ・PR・コンテンツ・デジタルなどのサービスを提供する計7つのブランドがあります。

7つのブランドには、クリエイティブ力に定評があり、さまざまな広告賞で受賞実績を持つ「Response Marketing」（レスポンス・マーケティング）や、メディアバイイングを行う「Grant Advertising」（Grant・アドバタイジング）、「Grant Media」（Grant・メディア）などが含まれます。

スリランカは2009年の内戦終結以降、高い経済成長を続けており、有望な新興広告市場となっています。当社はGrant・グループの買収により、電通イージス・ネットワークのスリランカ拠点を確保するとともに、南アジア市場への事業拡大のための戦略拠点としていきます。

買収後、当社は「Grant Advertising」を「電通 Grant」（電通Grant）に改称するとともに、「Grant Media」を当社グループのグローバルネットワーク・ブランドの一つである「Carat」

(カラ)のネットワークに組み込み、グループ各社との連携を密にすることで、スリランカならびに南アジア市場での成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2017年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

**【Grant・グループの概要】**

社名 : Grant Advertising Group (Pvt) Ltd  
Grant Agencies (Pvt) Ltd  
本社所在地 : スリランカ・コロンボ市  
設立 : 1958年4月  
株主構成 : 買収手続き完了後  
電通イージス・ネットワーク 「Grant Advertising Group」の85%  
同 「Grant Agencies」の70%  
収益(Revenue) : 2億8,432万スリランカルピー (約2.1億円) (2015年12月期)  
代表者 : Neela Marikkar (Chairperson & Managing Director)  
従業員数 : 150名  
事業内容 : 広告コミュニケーション領域全般のサービスを提供

以上